

学術論文	・論文（査読のあるもの。学会などの抄録などは除く） ・<u>本学学生が著者</u>に含まれているものは赤字で記載 ・2007 年以降（個別）と以前（2006 年までの合計）を分けて記載
（論文）	2006 年以前 38 報

著書	著書（2007 年以降（個別）と以前（2006 年までの合計）を分けて記載。）
(著書) (1)	（「化学構造と薬理作用―医薬品を化学的に読む―」 改訂版 柴崎正勝ほか監修 白石充ほか執筆中（2014 年 8 月締切）、廣川書店） 2006 年以前 2

学会発表等	・2007 年以降における招待講演演者やシンポジスト ・2007 年以降における国際学会（国内外での開催を問わない）のうち<u>発表者</u>であるもの（共同研究者の場合は除く） ・2007 年以降における<u>本学学生</u>が<u>発表者</u>となっている学会発表（学生が共同研究者の場合は除く）
(招待講演) 1 (シンポジスト) (国際学会) (学生発表) 1 2	有機合成化学協会・有機合成夏期セミナー（大阪） 「CCR5 拮抗薬の探索研究」（2007 年 7 月） (財)薬学振興会・先端創薬科学講座セミナー（東京） 「企業における創薬研究」（2007 年 2 月） アリルアミン誘導体の Domino Friedel-Crafts 反応を利用したヒガンバナアルカロイド類の合成研究 <u>鷺澤一輝</u>、大塚陽子、村重 諒、白石 充 第 63 回日本薬学会近畿支部総会・大会（同志社女子大学京田辺）2013 年 10 月 トリフルオロメタンスルホン酸を用いたイソキノリン骨格の構築と誘導体合成 村重 諒、<u>大塚陽子</u>、白石 充 第 62 回日本薬学会近畿支部総会・大会（武庫川女子大学西宮）2013 年 10 月 ・ ・

社会活動	2007 年以降の社会における活動等（学会や公的機関の委員や役職など。ただし、学内や学園内の委員・役職などは除く） 2007 年以降のその他の社会活動（教育機関や公的機関における講演依頼など）
（社会活動） 1	平成 25 年度姫路市シニアオープンカレッジ 講義 「健康とくすり」 くすりの発見・発明 ―今昔物語― （2013 年 11 月）

賞	2007 年以降に受賞した賞